

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について（午前0時30分現在、第六報）

平成23年3月12日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

平成23年3月11日午後2時46分頃に、宮城県沖を震源とする地震が発生しておりますが、本日午前0時30分現在の発電所の状況は以下の通りです。

現時点における外部への放射能の影響はありません。

なお、第五報までにお知らせした内容に加え、4号機のオペレーティングフロアの水たまりを拭き取り清掃した結果、水たまりの量が約30Lだったことを確認しました。

＜オペレーティングフロアにおける水たまりの状況＞

号機	水たまりの量	放射能量
1号機	約0.8L	約100ベクレル
2号機	約4.8L	検出限界値未満
4号機	約30L*	約15,300ベクレル
7号機	約0.78L	約330ベクレル

*第五報まで約4.17Lとお知らせしておりましたが、その後の清掃結果を反映し、見直しをしております。

飛散した水たまりの総量は、約36Lで、放射能量は約15,700ベクレルであり、これは主要なラドン温泉約1.6Lに相当します。飛散した水たまりについては、拭き取り清掃を行いました。

＜以下、第五報までにお知らせ済みの内容＞

地震前に運転中であった1、5、6、7号機については、安定運転を継続しています。発電所内で観測された地震の加速度の最大値は、2号機原子炉建屋基礎版における15.5ガルでした。

地震後の現場パトロールにより、これまでに1、2、4、7号機の原子炉建屋のオペレーティングフロア（管理区域内）の使用済燃料プール付近で、地震により飛散したプール水と思われる水たまりが確認されました。

なお、水たまりの水は拡がっておらず、管理区域のオペレーティングフロア内にとどまっており、外部への流出はありません。

地震後の設備パトロールを実施し、各プラントのオペレーティングフロアの水たまり以外に、異常がないことを確認いたしました。

以 上